

令和元年度 全国硬筆コンクール課題参考手本

大平恵理書

お	か	あ	さ	ん	の
---	---	---	---	---	---

む	ね	は		な	ん
---	---	---	--	---	---

か	あ	っ	た	か	い
---	---	---	---	---	---

※つぎのむすび方(かた)でもよい。「ね」「な」「

かくねん

なまえ

小	一	
---	---	--

全体的な

評価の観点

について

正しく書(か)けているか、とこのつて書けているか、を考(かんが)えて書きます。

文字は正しく書けていないと、人にまちがったないようがつたわったり、まちがったきろくがのこってしまいます。また、とこのつた形(かたち)でない(よ)みづらくなります。文字の正しさとは、何(なん)でしょうか。また、とこのつた形とはどんな形でしょうか。

「横画(よこかく)、たて画(かく)、点(てん)、止め・はね・はらい、おれ、おりかえし、曲(ま)がり、そり、長(なが)き、方向(ほうこう)、外形(がいけい)、筆順(ひつじゆん)、接(せつ)し方(かた)、交(まじ)わり方、中心(ちゆうしん)、画と画の間(あいだ)」などの評価の観点を学びます。

一つ一つの評価の観点を考えて書くことで、文字の正しさを知(し)り、とこのえて書くことがみにつくように心(こころ)がけましょう。